

浦賀発

開運&癒しの 一日旅

浦賀～
久里浜
走水

縁結びの神社やパワースポットを訪ねる若い人たちが増えているという。縁結びとは、男女の縁だけでなく、「和」や「人と人のつながり」、「人と自然とのつながり」も指すものでもあるとか。ペリー率いる黒船が来航し、開国の舞台になった浦賀周辺には、縁結びの神社や、癒しのスポットがたくさんある。歴史を感じさせる街並みを散策しながら、癒しとパワーをチャージしよう。

text: Sugimoto Reiko photos: Ishiyama Katsutoshi

三浦半島MAP



愛宕山公園から 見おろす浦賀水道

明治24年(1891年)に開園した、市内で一番古い公園。ここからは、浦賀港と浦賀水道が見渡せる。ペリーの黒船がやってきたのもこのあたり。

浦賀

三浦半島の東部に位置し、東京湾の湾口部にあたる浦賀水道に面している。江戸時代には回船問屋や干鰯(ほしか)問屋が軒を連ね、1720年には江戸湾の警備のために浦賀奉行が置かれ、湾に出入りする船が寄港する要衝となり隆盛を極めた。1853年にはペリー率いる黒船が来航し、久里浜に上陸。1860年には威臨丸が浦賀港から出港し、太平洋を横断した。街には歴史をしのばせる史跡が多く、湾の入口には、東西を結ぶ「浦賀渡船」が今も行き来している。

浦賀駅へ行くには、品川駅から快特利用、京急線堀ノ内駅から接続している浦賀行き乗り換えで最速53分

散策にも便利でお得なきっぷ

三浦半島 1DAY きっぷ

京急線と京急バスで、エリア内を乗り降りできるフリーきっぷ。金沢文庫～浦賀間・逗子線・久里浜線各駅で自由に乗り降りできます。おトクな優待特典付き。

●発売駅：京急線各駅(※泉岳寺駅を除く) ●有効期間：1日

三浦半島 2DAY きっぷ

「1DAY きっぷ」の特典を2日間利用できるフリーきっぷ。1泊ステイして、三浦半島の魅力をたっぷり楽しめます。

●発売駅：京急線品川～上大岡各駅、空港線・大師線各駅 ●有効期間：連続2日間

浦賀渡船

浦賀に奉行所が置かれたばかりの享保10年(1725年)頃から、湾に隔てられた東西の浦賀の町を行き来する、浦賀のシンボル。対岸にいるときは、呼び出しボタンを押すと、すぐに迎えに来てくれる。渡船の航路は「浦賀海道」と名付けられ、全国でも珍しい水上の市道(2073号線)。

浦賀ドック

一世紀以上にわたり、約1,000隻の艦船をつくり続けてきた造船所の跡地。2003年に閉鎖されたが、「威臨丸フェスティバル」などで、一部が公開される。

ペリーの黒船が訪れた 開国の舞台となったまち

そこにいると心が落ち着き、元気が出てくるような、地球のエネルギーが感じられる場所を「パワースポット」という。古来より、自然のなかに八百万の神を見いだしてきた私たち日本人にとって、森や海、信仰を集めてきた神社も、パワースポットのひとつ。

「ペリーのやってきたまち」として知られる浦賀。ここには「縁結び」の神社があり、周辺には、ヤマトタケルノミコトとオトタチバナヒメの愛の伝説の舞台もある。この小さな浦賀湾に、ペリーの黒船がやってきたのは、不思議な力に引かれてのことではなかっただろうか。パワースポットとしての浦賀を歩いてみよう。



写真左から、香り系のお茶「さくらかおり」1,575円、「熟成茶」840円、「サダジさんのお茶」840円。

▼落ち着いた店内でおいしい煎茶を。



「味わいコース玉露」800円。7～8煎茶目までいただける。最後は、残り葉を食べてしまう。



ここでひと休み

日本茶専門「茶井」

日本茶カフェで、煎茶の新しいおいしさを発見。コーヒーのプロだった二代目店主が、「煎茶」の本当のおいしさを伝えたいと、倉庫を改装してカフェに。独自の煎茶の味わい方を完成させた。おすすめは、6～7煎くらいまで飲めるという「味わいコース」。日本茶インストラクターの資格を持つ店主が煎れてくれる一煎目は、茶のだしと旨みを、二煎目からは香りとおいしさを味わう。急須にさし湯を入れたら、きれいに注ぎきるのがおいしく飲むコツ。店では、店主がその都度さし湯を用意してくれる。玉露なら、残った茶葉を、しょうゆをかけて食べさせてくれる。野菜のようなおいしさは感動だ。アイス抹茶ラテや抹茶クリームあんみつも人気。テイクアウトもできる。

●10:00～18:00(L.O.17:45) ●日曜・月曜休

※年末は12月31日(木)まで、年始は1月2日(土)から

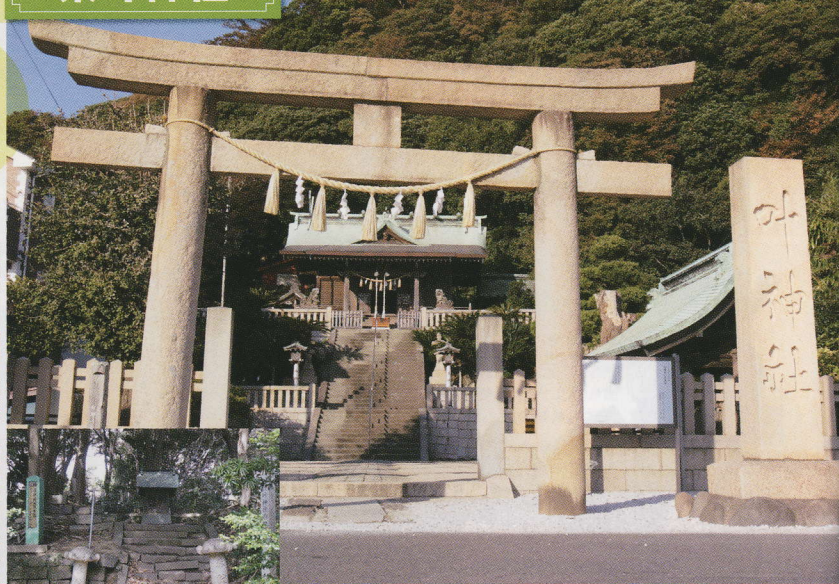
●浦賀駅から徒歩1分 ●横須賀市浦賀3-1-10

●046-841-0713 ●www.e-chai.jp/

後北条氏の頃、房総半島の里見水軍の攻撃を防ぐために、神社の裏にある明神山に水軍を配置したといわれている。勝海舟が威臨丸での太平洋横断前に、神社の裏にある明神山の井戸で水垢離(みずごり)をし、断食をしたと伝えられている。山頂からは、房総半島が見渡せる。

●横須賀市東浦賀2-21-25 ●参拝自由

東叶神社



左／勝海舟断食の跡。

上／「えにし坂」「むすび坂」と名付けられた、合計257段の石段を上って、明神山山頂へ。左下／頂上からは、対岸の西叶神社も見える。

京急電鉄と叶神社合格祈願切符発売中

限定1,500枚の絵馬の付いた「合格祈願切符」。日本には浦賀にしかない、縁起のよい名前を持つ「叶神社」のお参りに便利なきっぷ。フリー区間内は、乗り降り自由です。

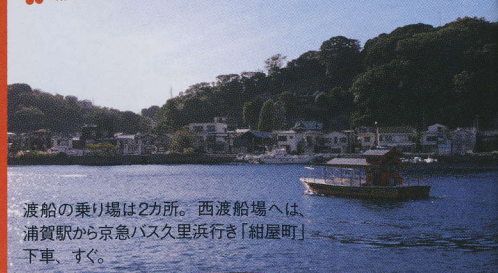
●フリー区間：横浜～浦賀間 ※京急線泉岳寺～横浜間、空港線、大師線、逗子線、久里浜線はご利用できません。

●有効日：平成21年12月1日～平成22年2月28日の期間内1日限り有効 ●発売額：800円 ●発売駅：横浜・上大岡・浦賀

※数量に限りがございますので完売の場合はご容赦願います。



渡し船の風景



渡船の乗り場は2カ所。西渡船場へは、浦賀駅から京急バス久里浜行き「紺屋町」下車、すぐ。

西叶神社

天保13年(1842年)に建造された社殿は、安房の彫刻師「後藤利兵衛」の彫刻で飾られている。拝殿の格天井(ごうてんじょう)の花鳥の彫刻には、当時の日本には渡来していないとされる花や鳥も。

●横須賀市西浦賀1-1-13

●参拝自由



初詣や合格祈願にも

願いが叶う、
縁むすびの
神社をお参り

浦賀



勾玉とお守り袋



上／お守りの「勾玉(まがたま)」は、「翡翠(ひすい)」と「瑪瑙(めのう)」の2種。天然石なので、すべて形や色が違う。インスピレーションで、好きな石を選ぼう。

下／西叶神社は、「紺屋町」バス停から徒歩1分ほど。

湾を隔てて西と東に
向き合う二つの叶神社

浦賀には、西と東に向かい合うように、「二つの「叶神社」がある。

どちらも 源氏の再興を願って京都石清水八幡宮の神霊を迎えたことに始まるといわれ、その後、源頼朝によって、その願いが叶ったことから「叶大明神」と呼ばれるようになり、願い事が叶うという説が生まれたという。

ふたつの向き合う神社。「叶う」という名前。神社をつなぐ渡し船。これだけ偶然がそろっているのだ、それだけで願いが叶いそうに思えてくる。「縁結び」とは、男女の縁だけでなく、和、人と人、人と自然とのつながりをも指すという。「縁結び」「心願成就」そして「初詣に、浦賀に足を運んでみたい。

まず、西側の叶神社を参拝し「勾玉」を受ける。浦賀渡船で東側に渡る船上で、左手で勾玉を握り、その左手の甲に、右手の人差し指で「叶」という文字を書き、願いごとをしよう。手にしたまま、もう一つの叶神社で、お守り袋を受けて勾玉を入れ、大切に持っている。縁結びのご利益があるといわれている。